今や日本の現状は決して労仂者が意識的たると無意的たると國内に於て階級対立をなすべき秋ではない。又階級的に対立すべき何等の理由はない。國民的立場に於て産業上に産業人として日本の産業のため今からの協力をなすべきであるとの確信を吾々は堅持して居る。而し乍ら現在の日本の機構内に於て労仂者の日常生活も将来も労仂者自らが防衛せざる限り何人も是れを良くなす事の出来得ない実情にあるのであって此の点は必然的に時に対立政争はまぬかれぬ、

これは國家が進んで産業上の統制をなすべきである。

吾が東京聯合会は思想運動華かなりし時以来思想運動は労仂者に対して決して真実のものたらざるを指摘して幾多の非難中傷の的を浴び乍ら労仂組合を守れと労仂組合主義を主張して来た。

斯くて昭和六年満洲問題を契機として世界ノ関心は日本に対して無理解無謀極まるものであった。これこそ國民協力の秋であり産業上にある労資こそ協力すべきであると敢然起ち労仂組合の愛國的態度を宣揚した

（二）

今は吾々は

一、道義に基く公正なる労仂條件の実現

二、労資の融合に依る日本産業の振張

三、資本主義経済制度の改善を運動精神の原則とする

労仂組合と労仂組合主義

今日本の労仂運動は幾多の潮流をなして居るその勢力をなすものは労仂組合主義であるが労仂組合主義は今色々に主張せられ色々に解されてゐるが元来労仂組合主義は幾多の政治的動向に労仂者が禍され『労仂者は党を否定し政治的行動に依らず労仂組合本意に経済的直接行動に依って自巳の解放を計れ』と云ふのが根本精神で政治行動桑が組合主義の主なる点である

日本に於ては最初これ等の主張を支持して生れたのであったが政党否定の立場を採らず思想運動の攪乱に備へんため労仂組合を守れとの主張から労仂組合主義を唱へた　勿論これは階級的立場の高揚が主であったそこに何等の愛國的國民的意識はない　人或は日本人は元来愛國的である故殊更にかゝる意思表示の必要なしと云ふ者もある　而しそれは未だ日本の労仂運動の真実を告白なすを得ざる情実にある強辯に過ぎない

日本の労仂運動の過程は明に階級的でありその甚だしきものに至っては明に非國家的の労仂運動を明にし然らずとするとも階級的立場に依る運動は必然的に非國民的にならざるを得ない、究まれ日本の労仂運動に対する認識に對し共の過程　主張　行動は非國家的に第三者より認識されるに充分なる理由が幾多ある　此の國家多難の時愛國思想の宣揚を必要なし　の心事それ自態が彼等一流の偽瞞である　國民協力を絶対必要とする時元来日本人が愛國的であるなれば進んで一切の社會運動は愛國的立場と精神を宣明すべきである　階級的立場を守れ　階級的意識を發揮せよの必要も時に吾々は止むを得さる時もあった

時は國内相争ふの事態を許さない、否将来とも國家は共に相心協行する時に其の發展を約束されるのであって断じて階級対立は其の結果に於て吾々の求んとするものではない

日本の労仂運動は過去の過りを一切精算し　其の運動精神として強烈なる國民意識愛國精神を以てしなければならない、兎もすれば自巳本意に功利的な打算に落ち入らんとする労働組合主義をして更に國家繁栄を通じて自巳を生かさんとする日本精神を基調とした日本主義労仂運動の採用こそ日本人の日本の労働者の行くへき途である